

データヘルス時代の母子保健情報の利活用に関する検討会の開催について

1. 目的

本格的な I C T時代の到来を迎えるにあたり、インフラも含めたICT基盤の整備やビッグデータの利活用等を通じて、保健・医療分野における健康情報の管理・利活用等を推進していくことが求められている。

こうした中、乳幼児期・学童期の健診情報においても、個人の健康情報の管理、ビッグデータを活用した調査研究、更には、個人情報保護に配慮しつつ関係機関間での情報共有体制の整備等を行っていくことが求められる。

そのためには、まずは乳幼児健康診査の記録等のうち、最低限電子的に管理されるべき情報について様式を標準化することが必要である。この最低限の電子的記録様式（ミニマム・データセット）を策定するとともに、記録の電子化の促進等の関連する事項について検討を行うことを目的とし、有識者、関係機関等の協力を得て、子ども家庭局長の下に、本検討会を開催するものとする。

2. 検討事項

- ・乳幼児健康診査等の健診記録にかかるミニマム・データセットについて
- ・その他、乳幼児期・学童期の健康情報の管理に関連する事項について

3. 構成員

- ・構成員は別紙のとおりとする。
- ・座長は、構成員の中から互選により選出する。
- ・座長は、必要に応じ、構成員を追加し、又は、構成員以外の関係者の出席を求められることができる。

4. 運営

- ・検討会は、原則公開とする。
- ・厚生労働省子ども家庭局長が検討会を召集する。
- ・検討会の庶務は、関係機関等の協力を得て、厚生労働省子ども家庭局母子保健課が行う。

5. その他

この要綱に定めるもののほか、検討会の運営に関し必要な事項は、座長が子ども家庭局長と協議の上定める。

<別紙>

データヘルス時代の母子保健情報の利活用に関する検討会
委員（五十音順）

| | |
|-------|---|
| 井上裕之 | 保健医療情報システム工業会(JAHIS) 保健福祉システム部会 健康支援システム委員会 副委員長 |
| 今村知明 | 奈良県立医科大学公衆衛生学講座 教授 |
| 岩田太 | 上智大学法学部 教授 |
| 鎌田久美子 | 公益社団法人 日本看護協会 常任理事 |
| 木内恵美 | 全国保健師長会 健やか親子特別委員会委員 |
| 迫和子 | 公益社団法人日本栄養士会 専務理事 |
| 曾根智史 | 国立保健医療科学院 次長 |
| 高野直久 | 公益社団法人日本歯科医師会 常務理事 |
| 多賀佳子 | 公益社団法人日本助産師会 常任理事 |
| 平岩幹男 | 公益社団法人日本小児保健協会 副会長 |
| 光田信明 | 公益社団法人日本産科婦人科学会 委員 |
| 宮崎亮一郎 | 公益社団法人日本産婦人科医会 常務理事 |
| 森臨太郎 | 公益社団法人日本小児医療保健協議会 疾病登録と保健・医療 情報の電子化に関する委員会委員 |
| 山縣然太郎 | 山梨大学大学院総合研究部医学域社会医学講座 教授 |
| 温泉川梅代 | 公益社団法人日本医師会 常任理事 |
| 弓倉整 | 公益財団法人日本学校保健会 専務理事 |
| 吉井由美子 | 高松市役所健康福祉局保健センター 主幹 |
| 渡邊洋子 | 全国保健所長会 |